

# 組NEWS合

発行：金沢大学教職員組合執行委員会  
 住所：金沢市角間町 角間内線 2 1 0 5  
 直通電話(076)262-6009 (FAX同じ)  
 E-mail kanazawa@ku-union.org  
 ホームページ http://www.ku-union.org/

2007年 8月 1日

通巻 1067号

## この号の内容

学長懇談会の報告	1 ~ 3 P
19年度事務職員登用試験案内発表	4 P
全国知事会で決議 国に要望・提言	5 P
新潟中越地震調査緊急報告会のご案内	5 P
7月度活動日誌	5 P
地引き網の報告	6 P

## 学長懇談会 - 運営費交付金・大学運営・病院・附属学校の将来・多忙化などについてざっくばらんに -

7月19日(木)午後1時から6階会議室において学長懇談会が行われ、組合から正副委員長をはじめ執行委員、女性部長、医学系四分会支部など12名、大学からは林学長はじめ本木理事、橋本理事など9名が参加しました。

### 高等教育の公的支援の拡充を 求める取り組みについて

【組合】最初に、全大教で取り組んでいる「高等教育の公的支援の拡充を求める署名」に対して、一緒になって取り組むということで、署名をいただきたい。

【林学長(以下学長)】事業主と労働組合は時として緊張関係にあり、それぞれとしての独自性を保つ必要がある。このような問題に対しては、それぞれの立場で取り組むのが望ましいと考える。

国大協で実施した5月のシンポジウムは、担当理事として経済財政諮問会議との対応を含め、短時間で準備した。その中で、各大学学長の緊急声明や全国の知事会などでの反対決議などを上げる仕組みができたと考えている。

6月19日の閣議決定は、経済財政諮問会議の強固な姿勢が「適切な」の表現になったが、今後はシーリングの問題もあり、各大学で地方の国會議員、自治体の首長を廻って訴えているところである。

87の国立大学法人の長が個別大学としての主張をしながらも、共通的な問題では歩調を合わせて取り組んできており、そのことは喜んでいる。

【組合】しかし、多くの大学学長の反対声明がある中、影響力の大きい林学長の名のもので出していない。出して欲しい。

【学長】この間の発言の意図するところは「緊急声明」という思いであると理解して欲しい。



### 男女共同参画問題について

【組合】男女共同参画についての見解をお聞きしたい。

【本木理事】12月にアンケートの結果をホームページに公開した。今、ワーキングを設置し、分析し検討しているところで、今年度中にはアクションプログラムを掲載したい。

この間、集会やつくしんぼ保育園の建て替え地、夏季休暇の実施などを行ってきた。男女共同参画のホー

### 2007年度役員選挙が

8月2日(木)~8日(水)投票で告示されています。

投票 / 8月2日(木)午前9時~8日(水)午後5時

投票場所 / 各支部・分会の選管が指定する場所

開票 / 8月8日(水)午後5時半~ 於組合事務所  
立候補されている方は以下の方々です。

執行委員長(1名)	名古屋 道功	北支部(法学部)	教員
副執行委員長(1名)	木下 栄一郎	理学部分会	教員
書記長(1名)	武居 渡	北支部(教育)	教員
書記次長(1名)	山岸 忠明	工学部分会	教員
会計委員(1名)	澤田 さつき	四分会(医)	技術職員
執行委員(若干名)	池田 良枝	四分会(病院)	看護師
々	小原 文衛	北支部(文学)	教員
々	中井 英隆	理学部分会	教員
々	根本 浩行	北支部(外セ)	教員
々	増田 慎一郎	附属分会(小)	教員
々	村井 淳志	北支部(教育)	教員
々	安嶋 是晴	北支部(経済)	教員
々	山戸 博晃	工学部分会	技術職員
監査委員(3名)	小藤 累美子	理学部分会	教員
々	三田 耕平	附属分会(中)	教員
々	山上 尚幸	工学部分会	技術職員

ムページなども準備中である。抽象的なものでなく、現実的で可能性のあるものを決めていきたい。

女性の構成比率では平成13年に2割のライン実現を確認しているが、現在教員では14.5%で達成していない。

【組合】科学技術基本計画での女性研究者支援事業は10大学で実施されたが、金沢大学は応募したか。

【本木理事】準備が整わず、今回は申請できなかった。

【学長】研究者ではベンチャーの「特任准教授」を募集している。テニュアトラック型の准教授の募集が、ポスドクの雇用を進めるなどの趣旨で実施されてきている。この中で女性をどう確保していくかもある。

【大学 - 学長】国大協で12月21日「国立大学法人における男女共同参画の在り方」についてのシンポジウムを計画している。

【本木理事】教員の採用は基本、学部である。法人で数を決めていつまでに実施と進めるのは難しいかと思っている。

【組合】部局の問題とせず、法人として採用時に意識させるような具体的な施策を採るべき。

【本木理事】事務職の女性比率は35%であるが、管理職が一人もいないと指摘され、今回、女性2人を管理職に登用するなど努力している。



## 病院の7：1看護等の問題について

【学長】7：1看護基準については来年実施することを決めている。

経営的にはどれくらい<sup>プラス</sup>になるかという問題もあるが、安全安心の医療、高度先端医療を担っている立場からはどうしてもやらざるを得ない。人が集まらなければ大変なことになるが、1年かけて、リスクも背負って、やるぞというつもりでいる。

全国での説明会や病院見学会、国家試験対策講習などできることはやっており、法人としても協力していきたい。

看護師の年休が4.2日となかなか取れていないということだが、19年度はフルタイムの常勤化、ICUの専任化、産前産後代替え要員などで40名の増員も行った。夏季休暇を3日から6日に増やしたことも影響しているかと思っている。休みは自己申告で、希望があれば取れるような環境整備を進めていると聞いている。

オリエンテーションでの組合説明については、勤務時間内というわけにはいかないの、組合とは

連携して行くという立場で、昼休みとか5時以降疲れないうちに早めに切り上げてなど、これからも協力していきたい。

【組合】180名採用とのことだが、新人が大量に入ってくると、教育等の負担が大きくなるが、そうした説明がほとんどなく、経営が大変になるからがんばれといわれる。意見を言う場が持たれていない。

【組合】各種委員会や研修の場で、「うまくいかない」と赤字になる」「あなた方は辞めないで」「若い人に辞めないよう指導して下さい」とだけいわれている。みんな、せっかく迎えた看護師さんを辞めさせたくないと思っている。

患者さんに対する安全・安心の医療、質の高い看護の保障、また働く立場から安心して働ける職場環境にと思うが、現実はかけ離れている。

7：1で夜勤体制がどんな形になるかの説明もなく、質問には「説明をする必要ありません!!」では、「頑張ります」とは言い切れない。現場では「説明」を求めている。

【本木理事】法人としても経営にとって大変なこと。なんとしても実現したい。辞める人を少なく、新人を採用する。教育など負担がかかるなど今の大変さは

7：1という大きな事業を成功させる一つのプロセスであることを了解し、ご協力をお願いしたい。人が増えるということで、年休など確実に改善できるようになると思っている。

要望の事項は病院側に伝える。

【組合】現場での話し合いが必要ではないか。

【学長】必要なら、交渉の場に病院側から出席して貰うことなどもあるかと思う。

学域学類の再編の説明会などの様に、何が問題でどう変わるかを説明することが必要だと思う。

いま病院は400億円の借入金への対応、2%（年3.2億、5年で16億円）の交付金の削減がある。一般病院と違う附属病院の役割、高度先端医療を担うということの中で、腕が良い医師を特任教授や臨床教授に任命するなどの工夫もこらしている。

チーム医療が進み、医師、看護師、検査や放射線技師の連携などが様変わりする中で、どう在院日数や病床稼働率を改善していくか考えていかないといけない。

【組合】看護の実態を知って欲しい。年休は、本人の病気や子どもの病気などやむにやまれぬ理由がないと休めない。結婚準備のための休み希望は結局1日

だけしかもらえなかった。休みを言い出せない環境にあることを分かって欲しい。

大学病院の中でも金大は年休取得は1桁、他大学の多くは2桁。たくさん看護師が入ってきて逃げたってしまいかねない。妊娠時の夜勤免除についても実施との回答だが、切迫流産の話も聞いている。

こうした問題を話し合える場をつくって欲しい。

【学長】法人化から4年目、手探りでやってきたが、病院については全体に占めるセグメントが大きいので今ひとつ見えにくい。法人全体で対応していかないとけない。

【学長】良い意味で、構成員に何かの説明ができるかどうかが大切と思うので、相談してみます。

【本木理事】超過勤務を減らす、あるいは年休を取得しやすくするためには、仕事を減らすか、人を増やすということしかないが、病院では仕事を減らすことは困難である。7:1で人を増やすことで改善できるものと考えている。



## 附属学校に係る問題について

【組合】附属学校園は一般の方々との接点が多く、社会や地域に開かれた場と理解している。大学としての附属学校園の位置付けはどうなっているか。

人事交流の異動にあたって産休や年休の残日数の次年度継続など労働条件の引継などで不利益になることがある。県教委との関係を改善して欲しい。

【学長】人事権については、相互の関係もあり、差はどう調整していくか検討していきたい。

位置付けについては、どういう学校運営を行うのか、学校人事は、附属高校は受験学校といわれているが学校としてはどういう在り方を指すのか、高度先端の教育を目指すというなら、教育学部として実践の場をどうつくるのか等など検討をお願いしている。

## 多忙化問題について

【組合】教職員の多忙化の実態をどう理解し、問題の所在をどう考えているかがいたい。

【学長】声は猛烈に聞こえている。

多忙化については、法人化によって出ているものもあるが、学域学類再編など過渡的で金沢大学固有のものもあると思う。

経営問題や教学の問題で教員会議が増えているの

であれば、法人と部局とを繋げるための改善を進めることが必要と考えている。第2次中期計画時には何とかできればと思っている。

運営費交付金の削減が色々な負担増に繋がっていることは事実。しかし、少子化が進み、全てが競争の時代にあつて、社会貢献、外部資金の獲得、学生募集などは大学の存亡に関わる問題であり、「多忙化でできない」では困る。8月のオープンキャンパスでは全部局で頑張っていたきたい。

ルーチン的な多忙化はそれとは違い、どこでどう減らすか、メリハリをつけて改善をはかっていく必要がある。ただ、まだ先は見えていない。

【組合】角間北支部で「多忙化テーマの昼食会」があった。外部資金問題、学域学類再編の問題、教育にすら時間が割くことができなくなったという声が多く出された。事態を真剣に受け止めてもらいたい。

なかなか解決ができないとすれば、目に見える形で、手当支給や賃上げなどで応えることも検討して欲しい。

【学長】運営費交付金が減って人員減で苦労しており、人員増ということは無理で、効率化を図ることになる。民間からいわせると「私学と比較するとコマ数が数倍違うじゃないか」といわれ議論にならないが、1人ひとりの構成員がどう自分の職分を全うできるのか、「地方にある総合大学」という金大の個性を法人として生かせる方法を考えていきたい。

社会貢献についてもこれまで、部局でも社会貢献室でもと多様な形で取り組んできたが、ポイントをどう絞り、全体として整理する方向で話し合いをはじめている。

【橋本理事】多忙化の格差が以前より進んでいると思われる。負担を均等化することが必要。

## 「組合はパートナー」の認識について

【組合】以前、学長は労働組合は大学と一緒に運営していくパートナーとして認識していると発言されたが、その認識に違いはないか。

【学長】その様に認識しています。

【組合】時間をとって懇談いただきありがとうございました。



# 19年度事務職員登用試験の案内が発表

金沢大学では、昨年につき非常勤職員の常勤化の方法として、「平成19年度金沢大学事務職員登用試験」を実施するとし、ホームページに「登用試験案内」を発表しました。これは、法人化以前から組合が実施を求めていたもので、昨年は5名の登用が実現しました。

組合では、昨年の試験が実施された以降も、試験内容の簡素化や、これまでの業務経験を評価できる方法に改善するよう求めてきました。また、1回目ということもあって、面接試験の段取りなどでの、受験者の意見を踏まえ、実施方法の見直し等を求めてきました。今回の実施要項では、いくつかの点で、そうした配慮が行われており、評価したいと思えます。

ただ、これまで法人化以前から長期に渡って、金沢大学の円滑な業務遂行に貢献し、その発展に尽くしてきた職員を優先に登用の道を開くようにという組合の要望は、今回も充分組み入れられたとはいえません。

組合は、非常勤職員の常勤職員との格差是正を求めて運動を進めるとともに、一定の制限の中でも、広げられた「常勤化の道」を有効に活用しようと、全ての非常勤職員の方に試験に挑戦することを呼び掛けます。

昨年は、「受験促進」として学科試験の勉強会を実施し大変喜ばれました。今年は「面接試験対策を」の声もあり、9月に入って「受験対策」を準備していきたいと考えています。

皆様のご要望やご意見等をお寄せ下さい。



## 平成19年度金沢大学事務職員登用試験案内 (抜粋)

受付期間 8月20日(月)～8月31日(金)

受付場所 総務部人事課人事第一係

【受験申込書を持参又は学内便で

本部棟6階総務部人事課人事第一係へ提出】

教養試験日 10月14日(日)

面接日 10月20日(土)

3. 受験資格-次の各号のすべてを満たす者

- (1) 平成19年度末の年齢が、30歳から57歳までの者
- (2) 試験日現在、非常勤職員等(パートタイム職員については、正規の勤務時間が週30時間の者に限る。)として、本学に引き続き1年以上在職している者
- (3) 現在の勤務部署と異なる部署でも勤務が可能なる者
- (4) 職務に対する意欲と協調性がある者

4. 試験の方法及び内容等(日本語による出題)

- ・教養試験-(120分) 社会、人文及び自然に関する一般知識並びに文章理解、判断推理、数的推理及び資料解釈に関する一般知能についての多枝選択式による筆記試験-出題数40題
- ・面接-受験者全員に対し個人面談

問い合わせは、金沢大学総務部人事課人事第一係  
電話(角間内線)6147、5030、5015へ  
(詳しくは金沢大学ホームページをご覧ください)

## 老後なんてまだまだ先? でも...?!



僕たちのころは、いつか  
ら年金がもらえるのかな?

物価や消費税があがっ  
たりしているのかな?

医療費の自己負担や保険  
料は増えていくのかな?

## 教職員共済の年金共済をはじめませんか?



在職中に積み立てた掛け金を年金原資として、退職後に年金を受け取る制度です。将来を考え、「今」を大切に、少しずつ無理なく積み立てていきましょう。A型・B型・適格型があります。

お問い合わせは  
金沢大学教職員組合  
角間内線 2105  
電話 262-6009  
kanazawa@ku-union.org

とにかく、積立重視!

万一の保障も欲しい!

**B型**  
積立期間・支給期間  
を自由に設定したい

**適格型**  
積立ながら、  
節税もしたい

**A型**  
退職後の準備と、  
その前の事故にも備えたい

# 全国知事会で決議、国に要望・提言 「大学が安定的運営で地域での機能や役割を發揮できるように」

この間全大教では、運営費交付金の競争的経費化反対・高等教育の充実を求める運動を提起し、各大学での取り組みを強化してきました。その中で、全国知事会に対しても、運営費交付金の競争的経費化に反対する要望書を提出してきました。

7月12日～13日熊本で開催された全国知事会総会において「地域に貢献する国立大学法人の運営費交付金について」と題する決議が採択され、また、政府への要望・提言にも、国立大学の運営費交付金問題を付加することが確認されました。

## 地域に貢献する国立大学法人の運営費交付金について

平成19年7月12日 全国知事会

これまで国立大学は、国民の高等教育を受ける機会の保証、中核的な人材の養成拠点、知識・技術の創造拠点などの役割を担うとともに、地域における「知の拠点」として、教育・文化・産業振興など様々な分野を通じて地域の自立と発展に多大の貢献をしてきた。

こうしたなか、財政制度等審議会等において、国立大学法人の財務基盤の中核である国立大学法人運営費交付金の配分方法について、従来の方法から極端な競争原理や成果主義に基づく配分方法へ見直すべきであるという議論が行われている。また、「経済財政改革の基本方針2007」においては、各大学の努力と成果を踏まえたものとなるよう、平成19年度内を目途に見直しの方向性を明らかにすることが明記された。

もちろん、それぞれの大学が不断の努力を続けることは当然であり、その努力の成

果が適正に評価され、運営費交付金の配分に反映されることは必要と考えるところである。

その場合においては、直ちに効果が見えにくい基礎的・基盤的研究や外部資金の確保の機会が比較的少ない文科系・教育系大学等について配慮されなければならない。地方の国立大学にあっては、人材養成に加え、その地域における「知の拠点」として教育・文化・産業・医療の振興など様々な分野を通じて地域の自立と発展に大きな役割を果たしており、このことについても特段の配慮がなされるべきである。

このため、国立大学法人運営費交付金の配分方法の見直しに当たっては、各国立大学法人が安定的な運営の下で地域において果たしている機能や役割を發揮できるよう、十分考慮することを強く求めるものである。

### 緊急報告

（昼食の準備はありませんのでご注意ください。）

### 新潟県中越沖地震調査報告

日時 / 8月6日(月)12:00～

会場 / 組合事務所

理学部地球学科 田崎先生の他、医療支援に出かけた方などを予定しています。



主催 日本科学者会議石川支部

共催 金沢大学教職員組合

### 活動日誌

7月

- 3日 第21回執行委員会
- 4日 女性部学習会
- 7日 「労働条件の男女差格差」地引網
- 9日 第1回選挙管理委員会
- 17日 第22回執行委員会
- 19日 学長懇談会
- 25日 女性部学習会「リラックステイプ」
- 28日 第29回全大教定期大会



# 地引きの一汗、後は喉とおなか と会話でひとときを満喫

子どもたちにも「楽しい思い出」

組合員のみなさんの日頃のおこないがよほど良いのでしょう。梅雨のさなかにもかかわらず、例年、地引網の日は好天に恵まれます。



7月7日、七夕の日の朝も、一面厚い雲におおわれながらも空からやわらかな日射しが降り注いでいました。

地引網の朝は早いです。7時30分に

白尾の浜茶屋「じろべ」に集合。うわさには聞いていましたが、山側環状にのるとほんとうにアツというまに着いてしまうのですね。まだまだと思いつつ車を走らせ、ついつい高松まで行ってしまい、能登有料ののって引き返しました・・・。

さて収穫ですが、昨年が大漁だっただけに、今回は歓声上がるほどではなかったようです。それにしても、網から魚を出すのはなかなかコツが要ります。頭からするりと出てくれればよいのですが、魚が網に絡まって窒息死する場面に立ち会ってしまうこともあります。ピチピチ動いていた魚が、網と格闘する自分の手の中で動きをとめてしまったとき、やはりそれなりに動揺します。参加していた子どもたちにとっては、どんな経験になったのでしょうか。



地引網で一汗かいた後は喉を潤し、恒例の「お魚バーベキュー」です。魚あり、肉あり、野菜あり。海開き前で人のまばらな海岸で、超豪華な朝食に舌鼓を打てば、自然と話もはずみます。



スイカ割りで締めくくられた地引網の朝は、終始なごやかに過ぎていきました。

このイベントは家族連れでも一人でもたのしめるのが良いです。ともに家族連れで参加した諸岡先生と言っていたのですが、地引網や海でのバーベキューは、自分で計画しようとするとかかなり大変で、組合が毎年企画してくれるので大助かりなのです。夏が近づくと、うちのチビたちが「大学の人たちとまた海に行きたいよ?」と言うくらい、子どもの心にも「たのしかった思い出」としてしっかり刻まれるようです。

そんなたのしいイベントにするには、周到な準備が必要だったはず。組合事務局のみなさんをはじめ、この企画に携わられた方々にお礼申し上げます。

(結城正美・外国語教育研究センター)

## 金沢大学教職員組合 加入申込書

ふりがな \_\_\_\_\_ 申込日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

氏名 \_\_\_\_\_ (男・女) 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

部局名 \_\_\_\_\_ 職場 \_\_\_\_\_ 内線 \_\_\_\_\_

職種 \_\_\_\_\_

連絡先 電話 \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_ (職場・個人用)

記載された個人情報は、組合が適切に管理し、組合員名簿 する他、組合からの各種ご案内に利用させていただきます